

第 15 回『真冬に保育を考える研修会』のご案内

テーマ：『保育の質を問い直す』

～保育の質って何？どう推し量ればいいのか？～

1. 主 旨

今年は 60 年に一度おとずれる「ひのえうま」の年です。少子化対策のキーポイントの年になると言われています。そんな中、こども家庭庁は、これまで保育施策の柱としてきた保育の「量の拡大」から「質の充実」へと大きく舵を切りました。さらに人口減少地域における保育機能の確保、強化するためのモデル事業など地域との連携や多機能化など持続可能で質の高い保育を通じたこどもまんなか社会の実現を目指すとしています。このような中 2028 年度から施行される指針の改訂に向けての検討が始まっています。

そこで、今回の研修会では私たちの原点に立ち返って「保育の質ってなんだろう」、保育の楽しさ、醍醐味、わくわく感、『保育の質』を見つめ直していく研修会にしていきたいと思っています。たくさんの皆様のご参加お待ちしております。

2. 主 催 真冬に保育を考える会

3. 共 催 ここネット 日本保育協会山口支部青年部 県内若手園長会（一步会）・市内若手園長会（縦年会）

4. 募集人員 60 名《定員になり次第締め切らせていただきます》

5. 日時／会場 日時：令和 8 年 2 月 10 日(火)～11 日(水・祝)

1 日目 13：30～17：40

2 日目 10：30～17：00

会場：ふくふくこども館

〒750-0025 下関市竹崎町 4-3-3 083-227-2581

6. 参加費 8,000 円

7. 申込方法 別紙申込書を記入し FAX にてお申し込み頂くかまたは下記の QRコードまたは URL にアクセスし Google フォームにて 令和 7 年 1 月 30 日（金）必切厳守にてお申し込みください。

FAX：083-256-8158

URL <https://forms.gle/TiuvZhobwL6zUF1B6>



《プログラム 初日2／10（火）》

13：00 受付

13：20 開会の挨拶

研修1 13：30～15：30

『これからの保育施策における保育の重要性』

～こどもまんなか社会のまん中にいるために～

美園おひさま保育園 園長

全国保育推進連盟 幹事長 吉岡伸太郎 先生



こども基本法の制定、こども大綱の策定、はじめの100ヶ月育ちビジョン、『こどもまんなか実行計画』など、こども施策が次々に打ち出されています。私たち一人ひとりがこどもまんなか社会のまん中にいる存在であるために何が大事なのか。国の「保育」への期待していることをお話しします。

～10分休憩～

研修2 15：40～17：40

『安心と挑戦の循環は保育の本質』

～ アタッチメントで質の高い保育を ～

東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦 先生



質の高い保育とは何か。アタッチメントと遊びと体験こそ養護と教育です。はじめの100ヶ月育ちビジョンの中の安心と挑戦の循環です。その根本はアタッチメントです。養育者とこども、保育者と園児、さらに地域の様々な大人と子どもの関わりによって子どもは安心して育っていきます。その一役を担っている保育、保育士の役割は益々大きいと思います。これからの保育・子育てのかたちについてお話しをします。

17：40 明日の研修の案内と情報交換会の案内

（宿泊者・情報交換会参加者はホテルチェックイン後移動となります）

情報交換会 18：40～大黒荘 下関市新地町4-22 TEL：083-222-2684

～1日目終了～

《プログラム 2日目2／11（水・祝）》

受付 10:15～

研修3 10:30～12:30

『保護者から信頼される保育者になるために』

～今、保育所・保育士にできること～

武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科

教授 倉石 哲也 先生



送迎時いつも疲れた顔やイライラしている保護者、親の抱える様々な課題や子育て、仕事、家事をして困難さ、親自身の抱えている問題など、保育士として支えていかなければなりません。一方保育士自身も業務に追われ余裕の無さから不適切保育につながることもあります。質の高い保育の反対にある行為こそ虐待や不適切保育があると考えます。保護者から信頼される保育者になるために何が必要か一緒に考えましょう。

（昼食休憩 60分）

研修4 13:30～15:30

『指針改訂に向けて大事にしたいこと』

～質の高い保育のためのこどもの見かた～

大阪保育総合大学 学長 大方美香 先生



来年度は、次期指針の改訂に向けて本格的な議論が始まります。今の指針の改訂は、0歳1歳2歳児の保育のボリュームも内容も大きくなりました。指針はその時代時代でアップデートされています。保育者が一番大事にしていくべき「指針」がどのように変わろうとしているのか。さらに質の高い保育の実践のための「こどもの見かた」「保育の可視化」についてお話しします。

～ 10 分休憩～

研修 5 15:40～17:00

『指針はあなたの保育のお守り』 ～保育の原点にかえるべきもの～

至誠館大学 教授 田中 浩二 先生



保育に ICT や AI の活用が始まり、まさに新時代を迎えています。上手く活用する事で業務負担の軽減につながり、その分子どもと向き合う時間ができ、保育士としてのやり甲斐に通じていくと言われています。そこで聞きます。あなたの日々の保育は、保育所保育指針やこども園教育保育要領に基づいて展開されていますか？指針は私たちのバイブルです。指針を皆さんはどれだけ活用されているのでしょうか。指針改定の議論が始まりました。いまこそ、指針を大事にする保育を一緒に考えてみませんか。

17:00 閉 会 (片付け)

17:30 解 散

※オプション参加希望者は、申込書または申込みフォームの「ふくの会」欄に○を記入してお申し込み下さい。

オプション：【情報交換会 希望者のみ】

《初日 2/10 (火)》

18:40 「ふくの会」(情報交換会)
大黒荘
下関市新地町 4-22
TEL: 083-222-2684

